

A photograph of a river flowing through a dense forest. The water is a vibrant green color, and the surrounding trees are lush and green. The scene is peaceful and natural.

2024年5月12日
5月第二主日礼拝式／母の日

「聖なる主の御名をたたえ」

(詩篇63:3)

聖なる主の御名をたたえ

ほめ歌をささげます

ちから強いイエスの御名を

たからかに歌います

あなたの恵みは いのちにもまさるゆえ

私のくちびるは あなたを賛美します

聖なる主の御名をたたえ

ほめ歌 ささげます

「主をほめよ高らかに」

(歴代誌 I 29:11)

主をほめたたえよ 高らかに

主イエスを

主をほめたたえよ とこしえに

主イエスの名を

主の愛 いつまでも変わらず

全地(ぜんち)を喜びで満たす

主をほめたたえよ 高らかに

新聖歌408番 「主よ汝(な)が誓いの」

1 主よ汝(な)が誓(ちか)いの 御霊の神を
待ち望むわれに つかわし給(たま)え

* 満たしたまえ 天(あま)つ御霊を
主よ 今 求(もと)むる この魂(たましい)に

2 恵みの泉よ 渴(かわ)けるわれを
御霊の流れに 浴(よく)させたまえ 【*】

3 力(ちから)の源(もと)なる 御霊によりて
か弱きこの身を 強くしたまえ 【*】

<次>

新聖歌408番 「主よ汝(な)が誓いの」

- 4 冷(ひ)えたる心を 燃え上がらする
天(あめ)なる炎を のぞませたまえ
満たしたまえ 天(あま)つ御霊を
主よ 今 求(もと)むる この魂(たましい)に
- 5 主の功績(いさお)により くだる御霊は
われをも満たすと 今こそ信ぜめ
満たしたまえ さらに御霊を
満たしに満たして 溢るるまでに

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌196番 「祈れ物事」

- 1 祈れものごと 皆(みな)ままならず
胸にうれしいの 雲(くも) 閉ざすとき
* 祈れよし道は 暗くあるとも
祈れすべてを 主の手にゆだねて
- 2 祈れ ころを 静めて神の
御旨(むね)はいかにと 知りうるまでは * (くりかえし)
- 3 祈れ おのれの ことよりむしろ
他人(ひと)をとりなす 身となるまでは * (くりかえし)
- 4 祈れ みわざは かならず成(な)ると
信じて感謝を なしうるまでは * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン